

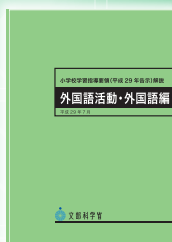
# English Compass

ふくしま・イングリッシュ・コンパス

## ～ 英語教育の羅針盤 ～



豊かな言語活動を通じた ふくしまの新たな英語教育を目指して



Speaking

### イングリッシュ・コンパスとは？

「ふくしま・イングリッシュ・コンパス」は、先生方と学習指導要領(平成29年告示)解説、小学校外国語活動・外国語研修ガイドブック及び各URL等をつなぐ「手引書」です。

本書自体に全ての情報が記されている訳ではなく、必要とする情報と出会うことができます。「目次」「辞書」「道標」のように、「検索機能を有した紙媒体」として、様々な形で活用していただければ幸いです。

### なぜ、イングリッシュ・コンパスか？

新学習指導要領と時数増。そして、働き方改革の波。それでもなお、子どもたちに素敵な授業を届けたい……。

そんな先生方の気持ちに応え、少しでも不安を払拭するために、予測困難な時代を生き抜く子どもたちと、共に頑張る全ての先生方に、新しい時代の英語教育が進むべき方向を指し示す **英語教育の羅針盤** ふくしま・イングリッシュ・コンパスをお届けします。

Reading

Writing

Listening



授業づくり等の際に開いてください 必要な情報とリンクします

授業づくり等の際に、「ふくしま・イングリッシュ・コンパス」を開いてください。キビタンのメッセージに従って、学校種及び5領域に応じて、学習指導要領解説及びガイドブックの参照ページ等(リンクマーク?)が記載されていますので、授業づくり等のヒントとしてください。「知っておきたいキーワード」及び「チェックシート」等も活用してください。※ページの表記は、p.に統一してあります。

いっしょに  
授業づくり



キビタン©福島県



# 学習指導要領(平成29年告示)に沿った授業づくりのために



## 「言語活動を通して」資質・能力を育成する

□ 「言語活動」とは 小ガp.23

「小学校外国語活動・外国語研修ガイドブック」～言語活動は、「実際に英語を用いて互いの考えや気持ちを伝え合う」活動を意味する。～言語活動は、言語材料について理解したり練習したりするための指導と区別されている。～つまり、英語を用いず、日本語だけで情報を整理しながら考えなどを形成する活動は、外国語活動や外国語科においては言語活動とは言い難い。一方で、英語を用いているが、考えや気持ちを伝え合うという要素がない活動も言語活動であるとは言い難い。例えば、発音練習や歌、英語の文字を機械的に書く活動は、言語活動ではなく、練習である。練習は、言語活動を成立させるために重要であるが、練習だけで終わることのないように留意する必要がある。



### 言語活動

「実際に英語を用いて互いの考えや気持ちを伝え合う」活動



### 理解や練習するための指導

英語を用いず、日本語だけで情報を整理しながら考えなどを形成する活動  
英語を用いているが、考えや気持ちを伝え合うという要素がない活動  
発音練習や歌、英語の文字を機械的に書く活動 など

① 「言語活動」の取扱いが変わったよ。



□ 「言語活動を通して、資質・能力を育成する」とは 小解p.29,100(活動),43,123(配慮) 小ガp.23中解p.54 (活動),85(配慮)

第1時	第2時	第3時	第4時	第5時	第6時	第7時	第8時	第9時
		言語活動①		言語活動②		言語活動③		言語活動④

「準備 → 練習 → 発表」の過程による単元計画にとどまらず、「言語活動 → 指導 → 言語活動」の繰り返しがある単元計画の立案も。

反復練習をひたすら繰り返してから言語活動を行うのではなく、導入や最低限の練習の後、まず言語活動に取り組みせ、その後で文構造や文法事項の指導を行い、再び言語活動に取り組むようにする。単元や授業の中で、繰り返し言語活動に取り組むようにする。

(文部科学省提供資料から)

### ② 言語活動の特徴(例)

- A 目的、場面、状況がある。
- B Aのため配慮が生まれる。
- C 考えなどを表現したり伝え合ったりしている。
- D Cのため、伝えたい「内容」だけではなく、伝えるための「英語表現」も、子どもが思考・判断している。
- E ターゲットセンテンス以外の英語もおおのずと使用する。



□ 「目的・場面・状況」とは

中解p.14(目標)

目的：コミュニケーションを行うことによって達成しようとする目的

場面：話し手や聞き手を含む発話の場面

状況：コミュニケーションを行う相手との関係性やコミュニケーションを行う際の環境

□ 「目的・場面・状況を設定した言語活動」の効果とは

小解p.15,71(目標),53,132(取扱) 中解p.14(目標),97(取扱)

例えば、ある情報を得るために読む際には、単に1つの情報をうのみにするのではなく、他の情報と比べるなどして精査する必要がある。また、意見を述べる際には、考えを整理したり話す内容の構成を考えたり、相手に応じた表現を選択したりする。このように、「目的や場面、状況など」に応じた言語の運用を考えることで、「思考力、判断力、表現力等」が育成される。

③ 伝えたい「内容」だけではなく、「どのような英語を使えばいいのかな?」と、子どもが伝えるための「英語表現」を思考・判断することが大切です。そのためには、「目的・場面・状況」を設定した「言語活動」が有効です。

「How much」を使って、「買物」をしてみましょう。

日曜日、ハンバーガー店で、自分の家族の昼食に、2,000円で「買物」を頼まれました。

なぜ、誰に、買物するの? どこで、何を、買物するの? 「How much」って答えかな?

よし、目的・場面・状況が分かった。どのような英語を使えば…? How,How,えっと?



## 「目的・場面・状況」を設定した言語活動(特に小学校高学年及び中学校)

### 略称

小解:小学校学習指導要領(平成29年告示)解説外国語活動・外国語編  
中解:中学校学習指導要領(平成29年告示)解説外国語編  
小ガ:小学校外国語活動・外国語研修ガイドブック



## もっと詳しく調べたい!「学習評価」と「専門用語」

### □ 「学習評価」関係

- 「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料:令和元年度(国立教育政策研究所)
- 学習評価の在り方ハンドブック(小・中学校編):令和元年6月(国立教育政策研究所)
- 小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校等における児童生徒の学習評価及び指導要録の改善等について(通知):平成31年3月29日(文部科学省)
- 児童生徒の学習評価の在り方について(報告):平成31年1月21日(中央教育審議会)

文部科学省 ?

<http://www.mext.go.jp/>



! さあ、コンパスを開いて、いっしょに授業づくり!



### □ 「専門用語」関係

- CAN-DOリスト:学習到達目標を「~できる」の形で設定し、言語活動を表した記述文のリストのこと。  
? 参照:各中・高等学校の外国語教育における「CAN-DOリスト」の形での学習到達目標設定のための手引き(平成25年3月文部科学省初等中等教育局)
- CLIL:「クリル」Content and Language Integrated Learningの略。内容言語統合型学習。言語教育と他教科の内容教育を統合するもの。  
? 小解p.45,125(配慮)小ガp.50,86,103中解p.88(配慮)
- FonF:「フォーカス・オン・フォーム」Focus on Formの略。意味理解中心の活動の中で、時折、形式の指導にシフトするもの。  
? 中解p.67(活動),93(取扱)

? mext channel

<https://www.youtube.com/user/mextchannel/>



? 教職員支援機構 ?

<https://www.nits.go.jp/>



? 国立教育政策研究所

<http://www.nier.go.jp/>



? コア・カリキュラム ?

<http://www.u-gakugei.ac.jp/~estudy/>



? えいごネット

<http://www.eigo-net.jp/>



? 県教育センター ?

<https://center.fcs.ed.jp/>



詳しい情報をチェック!

見方・考え方をチェック!



⑤ 特に教科化の5・6年生は、学習評価が大切!教材や資料、動画など、積極的に検索しよう。この他にも、パフォーマンステスト等を調べてみよう。※読み込みが難しい場合、他のコードを手で隠してみよう。

### □ 「外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方」とは

? 小解p.11,67(目標)中解p.10(目標)

【見方・考え方①】外国語で表現し伝え合うため、外国語やその背景にある文化を、社会や世界、他者との関わりに着目して捉え、【見方・考え方②】コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、再構築すること。

④ 英語の見方・考え方は、2つに分けるとわかる。



- ・ 右記のイメージ図では、便宜上、「見方・考え方」を、①と②の2つに分けて示しています。
- ・ 特に、言語活動を通して資質・能力を育成する際、「見方・考え方②」において、A伝えたい「内容」だけではなく、B伝えるための「英語表現」を児童・生徒自身に考えさせることが大切です。

(文部科学省 初等中等教育局 情報教育・外国語教育課 及び 教育課程課 教科調査官 山田 誠志 氏の図を参考に義務教育課で作成)



## 主体的・対話的で深い学びの実現に向けて「見方・考え方」を働かせる

② 参照資料及び動画等について、リンク先のページやURL等を追記し、**自分だけのオリジナル・イングリッシュ・コンパス**にするのもいいですね。



## 段階

① 3・4年生の目標を確認！  
赤字は留意点にリンク！

3・4年生:年間35単位時間

# 小学校中学年

## 目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、話すことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る素地となる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 知識及び技能:外国語を通して、言語や文化について体験的に理解を深め、日本語と外国語との音声の違い等に気付くとともに、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむようにする。 🔍 小解p.11(目標)  
🔍 小解p.13(目標)
- (2) 思考力、判断力、表現力等:身近で簡単な事柄について、外国語で聞いたり話したりして自分の考えや気持ちなどを伝え合う力の素地を養う。 🔍 小解p.14(目標)  
🔍 小解p.14(目標)
- (3) 学びに向かう力、人間性等:外国語を通して、言語やその背景にある文化に対する理解を深め、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。 🔍 小解p.15(目標)

② 今日は、どの領域？  
どの記号？重要だよ。

聞く

- ア 簡単な語句／聞き取る 🔍 小解p.19(目標),29(活動)
- イ 身近で簡単な事柄／意味が分かる 🔍 小解p.19(目標),30(活動)
- ウ 文字の読み方／どの文字が分かる 🔍 小解p.20(目標),31(活動)

読む

- ア 挨拶、感謝、指示／応じる 🔍 小解p.21(目標),32(活動)
- イ 動作を交えながら／伝え合う 🔍 小解p.21(目標),32(活動)
- ウ サポートを受けて／質問する／質問に答える 🔍 小解p.22(目標),33(活動)

話す  
やり取り

話す  
発表

書く

話す  
やり取り

書く

話す  
発表

※「読むこと」はしない。

🔍 小解p.50(取扱)

- ア 身の回りの物／人前で実物などを見せながら／話す 🔍 小解p.22(目標),33(活動)
- イ 自分ごと／人前で実物などを見せながら／話す 🔍 小解p.23(目標),34(活動)
- ウ 身近で簡単な事柄／人前で実物などを見せながら／話す 🔍 小解p.23(目標),35(活動)

※「書くこと」はしない。

🔍 小解p.50(取扱)

③ 子どもたちは、こんな姿で学んでいるかな？

## 子どもの姿

英語って楽しいね。

英語の歌も楽しいね。

言葉って、たくさん間違えながら身に付けるんだね。

毎時間、歌を歌うと楽しいね！自然と歌詞を覚えてちゃったよ。

会話をする時は、アイコンタクト、笑顔、そして大きな声だね。

言葉だけでなく、ジェスチャーを入れると、気持ちが伝わったよ。

英語のリズムトワクワクするね。

世界って日本と色々違うんだね。

3・4年生は、読んだり書いたりしないね。

初めは難しかったけれど、何度も聞いたら慣れてきた。

困っていたら、友だちや先生がサポートしてくれたから、うまくできた。

言葉だけでなく、実物を見せながら、発表するとうまくいったよ。

④ 必要に応じて、留意点を確認しましょう。

学級担任及び専科教員等が中心／ALT 🔍 小解p.48(配慮) 小ガp.108,124 及びICT 🔍 小解p.52(取扱) 小ガp.114の活用

## 留意点

- 素地 🔍 小解p.12,15(目標)
- 身近で簡単な事柄 🔍 小解p.14(目標)
- 慣れ親しみ 🔍 小解p.14(目標) 小ガp.160
- 相手に配慮 🔍 小解p.16(目標)
- 動作を交えながら 🔍 小解p.21(目標),32(活動)
- サポートを受けて 🔍 小解p.22(目標),33(活動)
- 人前で実物などを見せながら 🔍 小解p.23(目標),33,34,35(活動)
- 文字 🔍 小解p.50(取扱)
- ジェスチャー 🔍 小解p.51(取扱)

## 接続

⑤ 高学年へ接続のため、長期的に育てよう。

早期化に対応した 英語への十分な慣れ親しみ 🔍 小ガp.160

小学校高学年における「読むこと」及び「書くこと」を含めた5領域での学習を見据え、「聞くこと」及び「話すこと」について楽しい体験的活動を通して、あせらず音声で十分に慣れ親しませることが重要である。

🔍 小解p.41(配慮) 小ガp.160,182



(外国語科)

# 5・6年生:年間70単位時間 小学校高学年

語数:600~700語(3・4年含む)

② 小解p.89 (言語材料)

## 身に付ける

① 5・6年生の目標を確認!  
目的・場面・状況が追加!

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 ② 小解p.67 (目標)

- (1) 知識及び技能:外国語の音声や文字、語彙、表現、文構造、言語の働きなどについて、日本語と外国語との違いに気付き、これらの知識を理解するとともに、読むこと、書くことに慣れ親しみ、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身に付けるようにする。 ② 小解p.69 (目標)
- (2) 思考力、判断力、表現力等:コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙や基本的な表現を推測しながら読んだり、語順を意識しながら書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。 ② 小解p.71 (目標)
- (3) 学びに向かう力、人間性等:外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。 ② 小解p.72 (目標)

② どの領域?どの記号?  
読む・書くが、追加!

- ア 身近で簡単な事柄/聞き取る ② 小解p.76(目標),101(活動)
- イ 身近で簡単な事柄/具体的な情報/聞き取る ② 小解p.76(目標),102(活動)
- ウ 身近で簡単な事柄/短い話の概要/捉える ② 小解p.77(目標),102(活動)

- ア 指示、依頼/応じる ② 小解p.78(目標),106(活動)
- イ 身近で簡単な事柄/伝え合う ② 小解p.79(目標),106(活動)
- ウ その場で/質問をする/質問に答える/伝え合う ② 小解p.79(目標),107(活動)

- ア 活字体/文字を識別/読み方を発音する ② 小解p.78(目標),103(活動)
- イ 音声で十分に慣れ親しんだ/意味が分かる ② 小解p.78(目標),104,105(活動)

- ア 身近で簡単な事柄/話す ② 小解p.80(目標),108(活動)
- イ 整理した上で/話す ② 小解p.80(目標),109(活動)
- ウ 身近で簡単な事柄/整理した上で/話す ② 小解p.81(目標),109(活動)



- ア 大文字、小文字/活字体/書く/語順を意識し/音声で十分に慣れ親しんだ/書き写す ② 小解p.81(目標),110,111,112(活動)
- イ 身近で簡単な事柄/例文を参考に/音声で十分に慣れ親しんだ/書く ② 小解p.82(目標),112(活動)

③ 読む、書くも、皆で  
楽しんでいるかな?

- やった!アルファベットの音が読めた。(読む)
- 絵本などの文字がわかるよ。(読む)
- 3年生から、音に慣れたから、書きたいな。(書く)
- 大文字と小文字は、何も見ないで書けるよ。(書く)
- ローマ字はよく使われるへボン式だね。(書く)
- 四線上に正しく書けるようになったよ。(書く)
- 必要の情報、具体的な情報、概要を区別して、聞けるよ。(聞く)
- 大文字と小文字も区別できるようになったよ。(読む)
- 日本語と違って語と語の区切りがあるね。(書く)
- 書く時にゲームや目的があって楽しい。(書く)
- 「その場で話す」「整理した上で話す」は、中学校につながるよ。(話す)
- 掲示やパンフレットから必要な情報が読めるよ。(読む)
- 日本語と違って語と語の区切りがあるね。(書く)
- 語順を意識し、書き写すよ。国紹介カード!(書く)
- 例文を参考にして、単語を入れ替えて書くよ。(書く)
- 何度も聞いたから、読んでわかる。(読む)
- 皆の思い出アルバムが読めた。(読む)

コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力

④ 留意点を確認しよう。  
初見では書かないよ。

学級担任及び専科教員等が中心/ALT ② 小解p.128(配慮)小ガp.108,124 及びICT ② 小解p.131(取扱)小ガp.114の活用

- 基礎 ② 小解p.68,70(目標)
- 慣れ親しみ ② 小解p.70(目標),小ガp.160
- 身近で簡単な事柄 ② 小解p.71(目標)
- 音声で十分に慣れ親しんだ ② 小解p.71,78,81,82(目標),105,111,112(活動)
- 語順を意識し ② 小解p.72,82(目標)
- 他者に配慮 ② 小解p.74(目標)

- その場で整理した上で書き写す ② 小解p.80(目標),107(活動)
- 例文を参考にローマ字・へボン式 ② 小解p.81(目標)
- 語と語の区切りに注意して音声と文字 ② 小解p.81(目標),111,112(活動)
- 文及び文構造 ② 小解p.82(目標),113(活動)
- ② 小解p.105,113,114(活動)
- ② 小解p.112(活動)
- ② 小解p.130(取扱)
- ② 小解p.130(取扱)

⑤ 中学校へ接続!英語が  
大好きな子どもに!

早期化に対応した 英語への十分な慣れ親しみ ② 小ガp.160 / 教科化に対応した 評定を見据え確実な習得 ② 小ガp.160

小学校中学年における慣れ親しみを素地として、特に引き続き「読むこと」及び「書くこと」においては、音声で十分に慣れ親しんだものを取り扱うとともに、教科化に対応した評定を見据えて、確実な定着を図る必要がある。その際、定着を過度に求めるあまり、単なる機械的な反復練習に終始するなどによる「英語嫌い」をつくることなく、中学校段階へと円滑に接続できるようにする。 ② 小解p.121(配慮)小ガp.160,182



(外国語科)

年間140単位時間

# 中学校

語数:1600~1800語  
中解p.33(言語材料)

## 活用する

① 中学校の目標を確認！  
活用することが必要！

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 知識及び技能:外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる**実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能**を身に付けるようにする。
- (2) 思考力、判断力、表現力等:**コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題**について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
- (3) 学びに向かう力、人間性等:外国語の背景にある文化に対する理解を深め、**聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら**、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

② どの領域?どの記号?  
話題は日常的?社会的?



- ア 日常的な話題 / 必要な情報 / 聞き取る
- イ 日常的な話題 / 話の概要 / 捉える
- ウ 社会的な話題 / 短い説明の要点 / 捉える

- ア 日常的な話題 / 必要な情報 / 読み取る
- イ 日常的な話題 / 短い文章の概要 / 捉える
- ウ 社会的な話題 / 短い文章の要点 / 捉える

- ア 関心のある事柄 / 即興で / 伝え合う
- イ 日常的な話題 / 整理し / 伝える / 答える
- ウ 社会的な話題 / 聞いたり読んだり / 述べ合う

- ア 関心のある事柄 / 即興で / 話す
- イ 日常的な話題 / 整理し / まとまりのある内容 / 話す
- ウ 社会的な話題 / 聞いたり読んだり / 話す

- ア 関心のある事柄 / 正確に / 書く
- イ 日常的な話題 / 整理し / まとまりのある文章 / 書く
- ウ 社会的な話題 / 聞いたり読んだり / 書く

③ 統合的に指導し、  
総合的に育成だね。

4技能5領域を**統合的に**指導

関連付けて指導

予測困難な時代を生き抜く、ふくしまを生きる**グローバルな人材育成!**

先生が英語で教えてくれる。うれしい。

発信前に、整理するとうまくいったよ。

何度も挑戦したから、即興で話せるようになったよ。

中学校卒業でCEFR A1(英検3級程度)を取得!

日常的な話題

(4技能5領域を**統合的に**指導し**総合的に**育成)

社会的な話題

メモやマッピングで、うまくできたよ。

正確にも、まとまりのある文章も書ける。

必要な情報、概要、要点を区別して、聞く、読む。

卒業後も、英語を学び、世界と関わる。

4技能5領域を**総合的に**育成

バランスよく育成

未来社会Society5.0に必要なコミュニケーション能力!

④ 留意点を確認しよう。  
筆記体・発音表記は?

教科担任等が中心 / ALT 中解p.89(配慮) 及び ICT 中解p.96(取扱) の活用

- 日常的な話題
- 社会的な話題
- 聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮
- 即興で
- メモ
- 整理し
- 文法事項・増加

- 中解p.14(目標)
- 中解p.14(目標)
- 中解p.15(目標)
- 中解p.22,25(目標),61,64(活動)
- 中解p.25,28(目標),57,62,64,65,66,68(活動)
- 中解p.23,25,28(目標)
- 中解p.36(文法)

- マッピング
- 授業は英語で行うことを基本とする
- 発音表記
- 筆記体
- 文法事項
- 辞書

- 中解p.69(活動)
- 中解p.86(配慮)
- 中解p.91(取扱)
- 中解p.92(取扱)
- 中解p.92,93,94(取扱)
- 中解p.95(取扱)

⑤ 上級学校へ接続!義務  
教育修了時をイメージ!

高度化に対応した 英語の活用 / 上級学校の高度化・多様化への準備

中学校英語教育の高度化に伴い、**文法事項**及び語彙の**増加**に適切に対応できるように、中学校卒業時までの単元計画等を適切に作成するなど、上級学校においてのさらなる高度化及び多様化に円滑に接続する。

※ **文法事項の増加**については、主に**感嘆文のうち基本的なもの、現在完了進行形、仮定法のうち基本的なもの**など。(その他6ヶ所にも留意)

- 中解p.39(文法)
- 中解p.47(文法)
- 中解p.51(文法)

コミュニケーションを図る資質・能力

最初は授業の流れを固定して「主な活動」を工夫しよう。

福島県教育庁義務教育課実践例等ははこちら! <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/70056a/>



# 学習過程(例)

小解p.53(取扱),71(目標) 中解p.13(目標)



## 1 あいさつ

英語教室に移動したり、休み時間からBGMを流したりなど、英語の

雰囲気づくりに挑戦!

英語の世界へ 例) 日付、曜日、天気、時間

今日も英語楽しみだな。ワクワクするね。

家庭学習もバッチリ!

## 2 ウォームアップ

小学校ではSmall Talk及び絵本、中学校では語彙強化の帯活動等を継続、計画的かつ短時間で!

- 主な活動へ  
関連付け
- 例) 帯活動、ゲーム、前時までの復習
  - 例) Small Talk 小ガp.84,130
  - 例) 歌、チャンツ 小ガp.105
  - 例) 絵本 小ガp.106

### 英語スイッチ (例 → 3E:笑顔、Enjoy、エネルギー) オン♪!

英語で授業をしよう。(English Richな授業を目指そう。)  
 小学校:児童の実態に応じて、できるだけ英語で授業を行う。 小ガp.118  
 中学校:英語で授業を行うことを基本とする。 中解p.86(配慮)

## 3 目標等の共有

やり取りを通して、めあてを児童から引き出したり、課題を生徒

に気付かせたり工夫!

学びの地図

- 例) Teacher Talk(教師の口頭導入)
- 例) CAN-DOリスト

単元はこんな流れで、今日はこれをクリアだ。

どうやったら、いいかな?

## 4 主な活動

理解・練習のよさ、言語活動のよさ! 両者をバランスよく組み合わせる! 目的・場面・状況!

「目的」「場面」「状況」を重視し

### 例) 理解・練習

←組み合わせる等→

### 例) 言語活動

WHY?

(1) モデル提示(教師の見本)

I like Fukushima.

(1) 言語活動①(目的・場面・状況)

1回目の言語活動に挑戦

こんな目的・場面・状況、どのような英語を使えば? 1回目は間違っただけで、楽しかった。

(2) 繰り返し練習①(リピート)

I like Fukushima.

(2) 振り返り①(気付き)

共有・気付き・改善

みんなの発表や先生の英語を聞くで参考になるね。気付いたぞ。あんふうに、直せばいいんだな。

(3) 繰り返し練習②(単語を替えて)

I like Tokyo.

(3) 言語活動②(目的・場面・状況)

2回目の言語活動に挑戦

2回目は、正しい英語を心がけよう。やった! 修正して、正しい英語でできた。

(4) 会話練習(コミュニケーション)

A: I like Hokkaido.

B: I like Chiba.

(4) 振り返り②(価値付け)

共有・価値付け・整理

言語活動① → ②の改善を焦点化

さっき気付いたことは、こういうことだったのか。英語は間違いを恐れないで、徐々に、正しくしよう。

実際のコミュニケーションの流れの中で

伝え合う内容を大切に



先生の真似をしたり、繰り返し練習したり、例文どおりに会話したりすると、英語に慣れてくるね。早く自分の気持ちを英語にして、実際に使いたいな。

### その他

- ・文、文構造及び文法事項
  - 小解p.130(取扱)
  - 中解p.92,93,94(取扱)
- ・教材の取扱い
  - 小解p.133(教材)
  - 中解p.97(教材)
- ・領域統合型の言語活動(特に中学校)
  - 中解p.15(目標)
- ・言語活動の繰り返し
  - (1単位時間中、単元中) p.1
- ・CLIL p.2
- ・Focus on Form p.2
- ・(パフォーマンステスト・クイズ)
- ・(Correction Code)
- ・(ICQs)

## 5 振り返り

「楽しかった!」に加え、言語面・内容面の振り返り、学び方の振り返り(学びのメタ認知)が大切!

学びの足跡

- 例) 振り返り(CAN-DOリスト)
- 例) 単元全体の俯瞰及び見通し
- 例) 新たな学びの探究及び次回予告
- 例) 家庭学習(家庭学習スタンダード)



- ・別の場面でも使いたいな。例えば……。
- ・「●●」って、英語で言いたかったけれど、言えなかった。調べてみよう。
- ・友だちの表現をよく聞いたら、正しい表現(新しい表現)に気が付いた。

例)「今日学んだことは何ですか?」  
 例)「今日できるようになったことは何ですか? それができるようになったのはなぜですか?」

## 6 あいさつ

また英語を学習したくなるような笑顔! 授業後も英語のBGM等! 教室から出るまで英語!

※主体的・対話的で深い学び 小解p.42,121(配慮) 小ガp.54,88,156 中解p.82(配慮) 授業スタンダード

先生方の素敵な授業で、子どもたちを笑顔にしましょう。



# 「ふくしま・イングリッシュ・コンパス」チェックシート

年 月 日( ) 校時 年 組 授業者名( ) 参観者名( )

○ 「自己の重点項目を決める」「授業参観の視点として使う」「新たな項目を付け加える」など、工夫して活用してください。 ? 小ガp.95

チェックして、子どもたちに  
素敵な授業をプレゼント!

## ～ぜひチェックしたい項目～

項目	チェック	ページ
(1) 英語の時間のための「英語スイッチ(例⇒3E:笑顔、Enjoy、エネルギー)」が入っている。	4 3 2 1	⑥
(2) 適切に(小・中の学校種に応じて)英語を使って授業をしている。 ※1	4 3 2 1	⑤⑥
(3) 本時のねらいを明確に設定している。	4 3 2 1	③④⑤⑥
(4) 「理解や練習するための指導」と「言語活動」を適切に使い分けている。	4 3 2 1	①
(5) 言語活動において、目的や場面、状況等を明確に設定している。	4 3 2 1	①
(6) 設定されたコミュニケーションの目的や場面、状況等を理解させている。 ※2	4 3 2 1	①
(7) 目的に応じて情報や意見などを発信するまでの方向性を決定し、コミュニケーションの見通しを立てさせている。 ※2	4 3 2 1	⑥
(8) 目的達成のため、具体的なコミュニケーションを行わせている。 ※2	4 3 2 1	①②
(9) 言語活動において、伝えたい「内容」だけでなく、伝えるための「英語表現」を子どもに思考・判断させている。	4 3 2 1	①②
(10) 言語面・内容面で自ら学習のまとめと振り返りを行わせている。 ※2	4 3 2 1	⑥

子どもたちの豊かな学びのために、  
何にチャレンジする?

## ～チャレンジしたい項目～

(11) 単元など内容や時間のまとまりの構想(ゴールイメージ等)を明確に示している。	4 3 2 1	①
(12) ウォームアップ(小学校のSmall Talk等含む)を、単元又は本時のねらい等と関連させている。	4 3 2 1	③④⑤⑥
(13) ウォームアップを、中心となる言語活動又は理解や練習するための指導と関連させている。	4 3 2 1	①⑥
(14) Small Talk等を取り入れている。	4 3 2 1	⑥
(15) 単なる機械的な反復練習ではなく、意味のある活動にしている。	4 3 2 1	①
(16) 言語活動を単元など内容や時間のまとまり又は授業の中で繰り返し設定している。	4 3 2 1	①
(17) 言語活動を通して、見方・考え方が働くようにしている。	4 3 2 1	②
(18) 必要最低限の文法事項(小学校:文及び文構造含む)の扱い(気付き等)にしている。	4 3 2 1	④⑤
(19) 中学校において、技能(領域)統合型の言語活動を設定している。	4 3 2 1	⑤
(20) CAN-DOリスト(振り返りシート等)を活用している。	4 3 2 1	②⑥
(21) 単元など内容や時間のまとまり又は本時において、パフォーマンステスト等を実施している。	4 3 2 1	②
(22) 音声から文字へという原則的な指導順序を意識している。	4 3 2 1	③④⑤
(23) 小学校での「読むこと」「書くこと」等において、事前に音声で十分に慣れ親しませている。	4 3 2 1	④
(24) ICT等を効果的に活用している。	4 3 2 1	③④⑤
(25) ALT等の役割分担を明確にするなど、効果的にチーム・ティーチングをしている。	4 3 2 1	③④⑤
(26)	4 3 2 1	
(27)	4 3 2 1	

### 普遍的な授業の在り方は、授業スタンダードを参照!

- 1 単元(題材)の構想を明確にもっている。
- 2 本時のねらいを明確にもっている。
- 3 授業の約束事や学習に向かう心構えを指導している。
- 4 子どもの「問い」や「思い・願い」を引き出し、学習課題を設定している。
- 5 子ども一人一人に追究・解決の計画や見通しをもたせている。
- 6 机間指導で子どもを見取り、適切に支援している。
- 7 ペア学習やグループ学習を取り入れる目的を明確にもっている。
- 8 本時のねらいに迫るように話し合いをコーディネートしている。
- 9 本時で学習したことを明確にし、振り返りを工夫している。
- 10 新たな学びに目を向けさせる終末になっている。
- 11 授業の流れが分かり、構造的な板書になっている。
- 12 吟味精選された発問をしている。
- 13 ノート指導を継続的に行っている。



メモ

\*1 中学校の場合は、授業は英語で行うことを基本とする。その際、生徒の理解の程度に応じた英語を用いるようにすること。必要に応じて補助的に日本語を用いることも考えられる。

\*2 (06)(07)(08)(10)といった英語教育における学習過程の流れの中で、学んだことの意味付けを行ったり、既得の知識や経験と、新たに得られた知識を言語活動で活用したりすることで、「思考力、判断力、表現力等」を高めていくことが大切である。